

平成 28 年度 情報工学コース卒業研究報告要旨

山本 研究室	氏 名	渡 辺 稜 太
卒業研究題目	Twitter, Line, Facebook, Instagram における SNS 成長パターンについての研究	
<p>SNS(Social Networking Service) とは、インターネットを介して社会的な交流を構築可能にするサービスの総称であり、代表的なものには Twitter, Line, Facebook 及び Instagram などが挙げられる。SNS はここに挙げた他にも数多くが存在しており、日々新しいサービスが誕生している。その一方で人気が出ずにサービスが終了してしまう例も多く存在しているという現状がある。新しい SNS の成功率を高める為には既に成功した SNS をモデルケースとして SNS の成長パターンを分析・パターン化し、それを新しい SNS に適用することが近道であると考えられる。</p> <p>そこで本研究では、全ての SNS はその性質や成長度合いから幾つかの成長パターンに分類できると仮定し、SNS 成長パターンを“SNS を機能、利用率の変化、地域傾向の 3 種類で分類し、その特徴を明らかにしたもの”と定義した。成功した SNS の例としては Twitter, Line, Facebook 及び Instagram の 4 つの SNS をモデルケースとした。データの収集にはインターネットを用いて行い、各 SNS 運営会社の経営資料などの公開情報を中心に収集し、非公開となっていた項目については外部メディアによって公開された情報を参考値として使用した。</p> <p>収集したデータについて各 SNS について機能やユーザ特徴と成長傾向を分析した後、共通点の炙り出しを行った。これら 4 つの SNS をパターン化した場合、シェアが特定の地域に偏る場合と世界中で幅広く利用される場合で分ける軸と生活必需品か嗜好品で分ける軸の組み合わせで分類できることが判明した。</p> <p>シェアが特定の地域に偏り、生活必需品としての側面が強い SNS の例としては Line が挙げられる。このグループの SNS の成長する条件としては特定の地域における主要なコミュニケーションツールの地位を獲得が必要であり、成長は安定するもののその地域で頭打ちとなる傾向が存在する。また、このグループに見られる SNS の特徴としてはコミュニケーションツールとしての側面が強いことが挙げられる。</p> <p>世界中で幅広く利用されており、嗜好品としての側面が強い SNS の例としては Twitter や Instagram が挙げられる。このグループの SNS の成長する条件としては利用者の興味を引くことが重要であり、爆発的な成長を遂げることもある。また、このグループにおける SNS の特徴としては趣味に関する交流に用いられることが多い傾向が存在する。</p> <p>世界中で幅広く利用されており、生活必需品としての側面が強い SNS の例としては Facebook が挙げられる。このグループの SNS の成長する条件としてはビジネスなど特定の分野で必需品としての地位を獲得する必要がある、成長は安定しやすい傾向が存在する。</p> <p>SNS を上記のパターンに当てはめることによって新規の SNS が今後どのように成長していくかの予測や経営戦略における意思決定の一助となると考えられる。今後の展望としては既存のさらに多くの SNS に対して今回の成長パターンを適用して分類し、その上で新規 SNS が傾向に沿った成長を描くことを検証することが挙げられる。</p>		